

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,059	t-CO <sub>2</sub>
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,059

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）			%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）					%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	173.9	t-CO <sub>2</sub> / 千t	168.7	t-CO <sub>2</sub> / 千t	170.7	t-CO <sub>2</sub> / 千t	166.3	t-CO <sub>2</sub> / 千t
削減率（対 基準年度）			3.0	%	1.8	%	4.4	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / 千t	t-CO <sub>2</sub> / 千t	t-CO <sub>2</sub> / 千t
削減率（対 基準年度）					%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

自動車業界の認証問題等による生産台数減少、金属熱処理省略化方針により受注（生産）量が大きく減少も、カンバン方式による供給責任を果たすため、少量でも生産を余儀なくされ点消火を繰り返す非効率生産が増え目標より悪化した。ただし、当社としてCO<sub>2</sub>削減を目的とした太陽光パネルの設置、CO<sub>2</sub>フリー電気の購入は実施した。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理／エネルギー使用量の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織横断的な委員会を設置し、取組目標を設定、取組状況の確認・評価・見直し</li> <li>計測機器の導入により、使用実態を見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ、環境推進会議を1回/月開催し、エネルギー使用状況や省エネ活動の進捗を確認する。</li> <li>電気機器ごとに計測器を取付け、機器単位のエネルギー使用を見える化する。</li> </ul>	令和6年1月にエネルギー見える化システムを導入。毎日の使用量変化と生産構成との紐づけを行い分析し、1回/月の省エネ会議にて社長以下役員へも報告し情報共有を図った。
省エネルギー・省資源の推進／空調負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓ガラスへの断熱フィルムの貼り付け等による日射負荷の軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所、計器室の窓ガラスに断熱フィルムを貼り付ける。</li> </ul>	事務所への遮熱フィルム施工完了。
省エネルギー・省資源の推進／その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した変圧器は、省エネ法に規定されたトッランナー変圧器へ更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置25年以上の変圧器を令和6年度までに段階的に更新する。</li> </ul>	令和6年度中に更新を計画も遅れており、令和7年度へ持ち越す。
工場の製造工程における対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程の見直し・改善、新設備の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加熱炉のダクトダンパー調整を行い、適切な炉圧制御を施し、放熱、吸熱によるエネルギーロスを削減する。</li> </ul>	加熱炉の自動炉圧制御システムを3基構築済。令和6年度に一部の加熱炉に外壁断熱塗料を計画も、効果が薄く別案件を検討中。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)
令和 5 年度	太陽光発電設備	太陽光パネル 129kW PCS 70kW 発電量 110,547kWh

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2フリー電気の購入 令和 6 年度購入量 753,871kWh</li> <li>・現場作業員向け省エネ、カーボンニュートラル教育実施 (令和 6 年 9 月)</li> </ul>
---

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

毎月 8 のつく日を定時退社日を制定し、事務職は原則残業ゼロとしエアコン、PC 等の消費電力を削っている。
---